

社会教育の方針について No. 1

白杵市社会教育委員だより 第二号

協育ネットワークとは？

学校・家庭・地域がそれぞれの教育機能を補完・融合し、協働して子どもたちを見守り育てる仕組みのことで、中学校区単位で設定されています。

協育コーディネーターとは？

学校・家庭・地域の協働を推進するために、地域の人材を把握して、子どもたちや地域の学習活動を促進できるよう、**白杵市中央公民館・野津中央公民館に計8名**設置されており、次の3つの役割を担っています。
○校長や教師の求めに応じた、地域人材による学校教育課程内のコーディネート
○地域人材による学校教育活動における学校教育課程外のコーディネート
○地域性を生かした地域の企画による提案活動の実践

コミュニティ・スクールとは？

学校運営協議会を導入している学校のこと、白杵市では令和2年度から市内すべての小中学校がコミュニティ・スクールとなりました。
学校運営協議会の主な役割について、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第47条の5には次のように定められています。
○校長が作成する学校運営の基本方針を承認する
○学校運営に関する意見を教育委員会又は校長に述べることができる
○教職員の任用に関して、教育委員会に意見を述べるができる
各学校が定めている学校目標を学校・家庭・地域が共有認識し、協働して学校を運営することを目指します。

『各学校及び中学校ブロックでのコミュニティ・スクールの充実(協育ネットワークを活用した地域とともにある学校づくり)』

第二号では、今年度社会教育の方針の一つとして掲げられている取組について、詳しく説明します。

学校支援

中学校区ごと5つにブロック分けし、各1名のコーディネーターを設置しています。コーディネーターは学校運営協議会に参加し学校の様子や行事を把握するとともに社会教育課の活動について紹介します。学校が行う体験活動等においては担当教員と打合せをし、活動のねらい・効果についての報告を求めています。放課後子ども教室では、円滑な教室運営のために、年度初めに指導者・支援員と綿密な打ち合わせを行っています。開催においては、担当コーディネーターが教室の様子を定期的に見守り、指導員欠員の場合の代替を担っています。

★中3生公民館教室

★放課後子ども教室

家庭教育支援

白杵中央公民館と野津中央公民館に、各1名のコーディネーターを設置しています。乳幼児家庭学級では、親子参加型や季節に応じたあそびや活動を行うとともに、受講者間の交流も大切にしています。小・中学生対象の土曜日教室は、他校の仲間とともに体験活動を行うことで社会性の醸成につながっており、修了時には一回り成長した子どもたちの笑顔を見ることができます。

★白杵っこ土曜教室 (青少年教育事業)
うすき塾 / 英語でまなぼう
のつっ子チャレンジクラブ

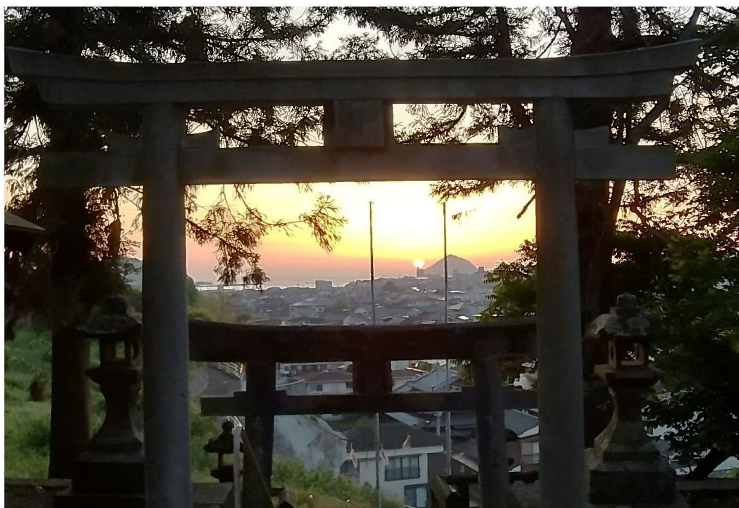
★乳幼児家庭教育学級
にじっこ / スキップ!
★学童期家庭教育学級 ほっとプレイス

読書活動支援

豊かな感性・思いやりの心・ふるさとを愛する心を育み、「本が大好き」「白杵大好き」白杵っこを育てることを目指し、1名のコーディネーターを設置して活動支援しています。

学校支援活動として、市内の全小中学校に配置されている学校図書専門員からの相談の対応や、市内保育園への出張読み聞かせを随時行っています。

また、家庭教育支援として、公民館事業(家庭教育学級)のメニューにも、絵本の読み聞かせを組み込んでいます。



山村委員おすすめスポット:戸室御霊社(津久見島を望む)

委員さんからの写真もお待ちしております

白杵市の協育コーディネーターや社会教育課の職員が、協育ネットワークの仕組みの中で、どんな活動を行っているか紹介します。

白杵市での取り組み

社会教育課の活動事例紹介

★中3生公民館教室【R4：登録120人、年間延人数815人】

高校受験を控えた中学3年生を対象に復習を中心に取り組み、学力の向上を目指すのが目的です。

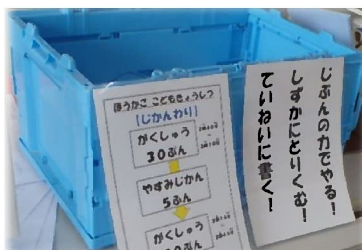
9月～1月の土曜日(午前)全16回実施します。

指導するスタッフは、退職教員や地域住民です。

高校受験に向けて、子どもたちは苦手科目を克服すべく積極的に教室に参加しています。指導者は昨今の高校受験出題傾向を把握し、既存のテキストに加えてオリジナルの問題を作成するほどに熱心です。指導者の情熱に子どもたちも受験モードのスイッチが入り、双方に良い関係性が築けています。

近年は、学習塾に通う生徒もいますが、本教室は無料でっており、家庭支援にもつながる大変意義のある取り組みです。

定年退職した教員が主であるため、指導者の高齢化により、体力的に厳しいと感じている指導者もあり、新規指導者の確保に努めていく必要があります。



★放課後子ども教室【R4：登録168人、年間延人数695人】

小学校2・3年生を対象に基礎的・基本的な内容(国語や算数の復習)を中心に学習習慣の定着を図り、基礎学力の定着をめざします。(学校によっては、他学年の受入れをする場合あり)

6月～2月の毎週水曜日の放課後(長期休業中除く)に、1単位時間25分間で2コマ実施します。場所は全小学校の余裕教室や図書館等を活用します。

指導するスタッフは、学習指導員(退職校長会の先生方、教職経験者等)と協育活動サポーター(地域の方、保護者等)です。

昨年度放課後子ども教室に参加した方々の声です。

- 子どもたち
 - ・水曜日になるのが楽しみ。・来年も参加したい。
- 保護者
 - ・先生が丁寧に指導してくれ自信がついたようだ。
- 指導員・サポーター
 - ・子どもたちの笑顔に元気をもらった。
 - ・出来なかったことが次の週にできたりすると我が子のようにうれしく思いました。

★白杵っこ土曜教室(青少年教育事業) うすき塾 / 英語でまなぼう のつっ子チャレンジクラブ



白杵っこの「生きる力」を育成するために、様々な体験活動を実施する子どもの学校外活動を「白杵っこ土曜教室」と位置づけ、白杵らしい「協育活動」を推進していきます。毎月1回(土曜日)開催します。

【白杵中央公民館拠点】

○うすき塾：小学4年生～中学3年生

【R4：登録37人、年間延人数195人】

5月開級式では、「消費者トラブル～騙されない大人に～」をテーマに白杵市消費生活センターの方を講師に招き、グループワークを実施。

夏休みにはお隣豊後大野市に足をのばし、ジオパークツアー・カヌー体験にも挑戦。自然の偉大さを肌で学びました。

○英語でまなぼう：小学4年生～小学6年生

【R4：登録18人、年間延人数121人】

5月初回には、白杵石仏の観光案内を英語でチャレンジ。毎年国際交流プログラムとして、立命館アジア太平洋大学への学園祭ツアーなども予定しています。

【野津中央公民館拠点】

○のつっ子チャレンジクラブ：小学4年生～高校生

【R4：登録36人、年間延人数269人】

6月には、高校生ティーチャーとして白杵高校書道部の生徒が先生になり、大きな用紙に様々な文字で書くことにチャレンジ。

のつっ子チャレンジでは、リーダーとしての統率力を育むことも目指しており、18歳以上のお手伝いしてくれるボランティアスタッフも募集しています。

★乳幼児家庭教育学級 にじっ子 / スキップ! ★家庭教育学級 ほっとプレイス



親力UP・家庭養育力を高めるため、月1～2回実施。

【白杵中央公民館拠点】

○にじっ子【R4：登録19組、年間延人数256人】

乳幼児とその保護者を対象に、月2回(基本第2・4木曜)午前中実施。親子でリズム遊びや体操、季節に応じた遊び活動を行います。

8月は水遊び、9月は運動会、10月はお芋の収穫、12月はクリスマス会など、様々な行事を親子参加型で楽しみます。卒業後も定期的に「里帰り会」を開催し、子育て世代の親の繋がりのお手伝いもしています。

○ほっとプレイス【R4：登録18組、年間延人数84人】

白杵で子育て中の保護者が「ほっ」として笑顔になれる場所を目指し、親力UPのための色々な企画をしています。月1回(基本第1火曜)午前中実施。夏と冬のおさがりマーケットは毎年定番の活動です。今年度は白杵の郷土料理にも挑戦予定。

【野津中央公民館拠点】

○スキップ!【R4：登録20組、年間延人数618人】

市民対象に、月1回(基本第2日曜)の午前中実施。

5月には、ほんまもん農作物の野菜収穫を親子で行い、自分で収穫したとおきの野菜をおいしくいただきました。有機農業がさかんな収穫体験を通じ、食文化の大切さを身につけることができます。

市公式ライン



気づかないだけで、まだまだあるであろう、うすきっ子への目に見えないサポートの数々。そんな積み重ねが、将来の白杵を担ううすきっ子の健やかな成長につながると思えます。自分ができる社会教育を、地道に行いたいと思えます。

7月に入り、顔があるみる真っ黒に。小学校のプール授業の補助員として、プール授業のある日は、ほぼ毎日欠かさずプールに行っていました。子どもたちの命を守るため、午前は小学校、午後は自身の業務を行うのが先生の7月のルーティーンとなっていました。

◆コーデイナーK先生
7月に入り、顔があるみる真っ黒に。小学校のプール授業の補助員として、プール授業のある日は、ほぼ毎日欠かさずプールに行っていました。子どもたちの命を守るため、午前は小学校、午後は自身の業務を行うのが先生の7月のルーティーンとなっていました。

編集後記

快適な学校生活の裏には、コーデイナーの先生方のさりげないサポートがある。私が4月に公民館異動になり感じたこと。

◆コーデイナーY先生
いつどこかの中学校の草刈りにいくか、他の先生方と日程調整をしていらつしやる。体育祭に向けて、子どもやPTA保護者では間に合いません。雑草たちと戦ってくれていたのは先生方だったのですね。